

# 支 部 だ よ り

## 担任も巻き込みにぎやかな授業

山手統括支部 渋谷支部 伊藤 綾子

酷暑の夏がようやく終わり、一気に涼しくなった初秋、昨年度に引き続き、小学5年生を対象に「子ども年金教室」を開きました。

- 日時 9月25日 土曜日
- 渋谷区立常磐松小学校
- 5年1組

日ごろ大人ばかりを相手にしている私たちが、大人でも理解が難しい、複雑な年金制度を小学生にどのように伝えていくか、また楽しんで授業を受けてもらうにはどうしたらいいかと頭を悩ませていました。校長先生から事前に3つのアドバイスをいただいたことで、すばらしい授業案を次々と出すことができ、当日を迎えることができました。

校長先生がおっしゃっていたことは、

最初が肝心。あいさつは元気



講師も務めた伊藤会員

1. つかみはしっかりと。
2. 前後の文脈で意味を捉えるので、むずかしい言葉が出てきても、細かい説明は必要ない。
3. 図や絵、模型など、立体的に見せると子どもは興味を示す。

これを元に、年金制度の歴史や、年金のしくみ、受給できる3つの年金や、保険料は誰が払うのか、加入する年金制度の話などのシナリオを作り、誰でもわかるキャラクターを使い、模型や文字ボードで示しながら授業を行いました。

家族のキャラクターを使った例題では身近なキャラクターであったため、子どもたちはとても興味を示してくれ、こちらからの問題に答えてくれるだけでなく、「じゃ、

〇〇(キャラクター名)は、どの年金に入るの?」などの、質問が出たり、子ども同士で「〇〇(キャラクター名)は厚生年金だよ」などと話し合ったりして盛り上がっていました。

このキャラクターを使った授業



積極的に参加してもらえた授業

は終了後のアンケートにもありましたが、「とても楽しかった」「分かりやすかった」と子どもたちにも大変好評でした。

文字ボードを読み上げている子どもたちの姿を見て、耳で聞く言葉だけでなく、文字でも示したことで理解がしやすかったのではないかと感じました。

授業が終わった後も、図や絵、模型のそばに子どもたちが寄ってきて、触ってみたり、質問してくれたり、理解しようとする積極的な子どもたちが多く、「世代間扶養」を理解してくれた子どももい

ましたので、難しい言葉を話すことに躊躇していた大人たちの心配は杞憂に終わりました。

また、こちらが一方的に説明するだけではなく、ところどころでこちらから問題を投げかけ、子どもたちにもどんどん手を上げて参加してもらえような授業にしたことも、理解を促したのではないかと思います。

担任の先生をも巻き込んで、教室が一体となるにぎやかな授業となりました。

たくさんの質問や積極的な参加をしてくれた子どもたち全員に、今回のがんばりに対して修了証を渡しました。年金の細かい話は忘れてしまいかもしれませんが、小学生のときにがんばって難しい授業を受けたんだというその証は、大事に胸に刻んでほしいと思います。

終了後、校長先生に「来年もぜひお願いします」というありがたいお言葉をいただきました。

子どもの中から国の制度に触れるというのは、とても貴重な経験だと思います。今後も渋谷支部の「重要な」事業の一つとしてぜひ、継続して行いたいと思います。